

山下
洋輔

Yosuke Yamashita, Piano

三船
優子

Yuko Mifune, Piano

スーパーセッション

ときに激しく、ときに美しく織りなす、二つのダイナミズム 2024

2024

3.9

土

14:00 開演
(13:30 開場)

益城町文化会館

全席指定 (税込) 前売 4,000 円 (ブルーム会員 3,500 円)
チケット発売 2023 年 12 月 9 日 (土) ※12/2 発売

- 益城町文化会館、■のぐち酒屋 (広崎)
- 熊本県立劇場
- チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード 257-330)
- ローソンチケット <https://l-tike.com> (Lコード 83813)

主催：KAB 熊本朝日放送、益城文化会館管理運営共同企業体

お問合せ：益城町文化会館 ☎096-286-1511 (受付時間 9:00~17:00、月曜休館) 熊本県上益城郡益城町木山 381-1

- ※当日券は各種 500 円 UP。
- ※未就学児童のご入場はできません。
- ※障がいのある方は優遇制度があります。
車椅子席と併せて会館でのみ取り扱います。
- ※駐車場には限りがございます。
公共交通機関のご利用やお乗り合わせの上、ご来場ください。

スーパーセッション

ときに激しく、ときに美しく織りなす、二つのダイナミズム 2024

Program

サティ	ジムノペディ
ドビュッシー	沈める寺
コープランド	エル・サロン・メヒコ (以上、三船優子ソロ)
山下洋輔	コミュニケーション
コルシカ民謡	ソート・オブ・ベアトリス
ラヴェル	ボレロ (以上、山下洋輔ソロ)
—休憩—	
ガーシュウィン	3つの前奏曲より第2番
山下洋輔	キアズマ
ガーシュウィン	ラブソディ・イン・ブルー (以上、三船、山下デュオ)

※プログラム内容は、予告なく変更される場合がございます。あらかじめ、ご了承下さい。



◦ Akihiko Sonoda

山下洋輔 piano

1969年、山下洋輔トリオを結成、フリー・フォームのエネルギッシュな演奏でジャズ界に大きな衝撃を与える。国内外のジャズ・アーティストはもとより、和太鼓やシンフォニー・オーケストラとの共演など多彩に活動する。88年、山下洋輔ニューヨーク・トリオを結成。国内のみならず世界各国で演奏活動を展開する。2000年に発表した自作協奏曲を、04年に佐渡裕の指揮によりイタリア・トリノで再演。06年オーネット・コールマンと、07年にはセシル・テイラーと共演。08年「ピアノ協奏曲第3番くエクスプローラー」を発表。09年、一柳慧作曲「ピアノ協奏曲第4番"JAZZ"」を世界初演。2016年、ウィーン楽友協会ホールで佐渡裕指揮のトーン・クンストラ管弦楽団と共演。18年、ニューヨーク・トリオ結成30周年記念アルバム『30光年の浮遊』をリリースし、国内ツアーを行う。19年、山下洋輔トリオ結成50周年の記念コンサート「爆裂半世紀!」を開催。20年、ソロピアノ・アルバム『クワイエット・メモリーズ』をリリース。1999年芸術選奨文部大臣賞、2003年紫綬褒章、12年旭日小綬章を受章。国立音楽大学招聘教授。演奏活動のかたわら、多数の著書を持つエッセイストとしても知られる。

公式ホームページ
<https://www.jamrice.co.jp/yosuke/>

究極の“Rhapsody in Blue”

‘70年代に小学校時代をアメリカで過ごした私は、バッハやベートーヴェンを勉強しながら、父が好きだったソニー・ロリンズやセロニアス・モンクのモダンジャズを聴き、母の歌っていたハワイアンも馴染み深く、学校ではポップスを歌い、と常に多彩なジャンルの音に囲まれて育ちました。学生の頃にはロックバンドやジャズバンドに夢になっていた時期もありました。ジュリアード音楽院に留学中にはNYのジャズハウスに足繁く通い、スイートベイジルに山下さんがいらしたときには喜び勇んで聴きに行きました。その時の山下さんは、演奏が一度始まると、お馴染みの肘打ちも出て熱さMAXなのですが、休憩時間や終演後は、他のミュージシャンのように客席に降りて来て談笑されたりすることもなく、静かに過ごされていたそのギャップが、強く印象に残っています。‘95年に私が“Rhapsody in Blue”というアルバムを出した頃は、コンサートプログラムにガーシュウィンを入れていた人は、クラシック界ではまだほとんどいませんでした。「ジャズも弾くんですね」「ジャズピアニストなんですか?」と言われたことも多々あります。その度に「いえ、ガーシュウィンは音をすべて楽譜に書いていて、ラブソディはジャズとクラシックを融合させた作品なのです」と、繰り返して来ました。「アメリカ」というイメージだけで、クラシックのピアニストとして軽視されているかのような、複雑な想いがいつもありました。ヨーロッパだけではなく、アメリカにも素晴らしい音楽はいっぱいある、それらをモーツァルトやショパンとともにレパートリーに入れながら、少しずつでも紹介していこう、と思って弾き続けて来ました。デビューの頃から念願だった「バーバーピアノ全曲集」を出すのにも、20年かかりました。時を経て、ガーシュウィンに至って

は、のだめブームやCMなどのおかげで、今では子どもたちも弾きたいと憧れるようなポピュラーなものとなり、アメリカ作品もむしろ注目を集めるような人気となりました。伝統を継承して来たクラシック界でも時代は流れていて、そしてホンモノはいつの時代でも、決して色褪せることなく輝き続けます。山下さんとの夢の共演で、ジャズもクラシックもなく垣根は飛び越えられるもの、心が熱くなればそれが音楽! そんな演奏をお届けできたらいいな、と思っています。山下さんとの共演は、知らない自分と出逢える興奮の連続です。ドキドキ・・・ワクワク・・・!

そして最後に、今回のコンサートについて一番大切なことを加えさせていただきます。このコンサートは、実は2016年の5月に予定されておりました。そのひと月前の4月に熊本地震が起き、益城町文化会館も大きな被害に遭われ、再開までどんなにか大変だったことかと思えます。私も数ヶ月後の7月に現地に伺い、町やホールの様子を目の当たりにし、言葉を失い、胸を痛めました。避難所の益城町広安西小学校で、OBSESSIONとして活動しているドラムの堀越さんと、子供たちに向けてコンサートとワークショップをやらせて頂いたり、福岡でチャリティー公演を行い、微力ながらも出来る限りの応援と想いを、以後熊本にはずっと持ち続けて来ました。今回、再びこの公演のお話をいただき、感謝の想いと嬉しさをお伝えしようがありません。あの時、もしチケットを手に入れた方がいらっやいましたら、お待ちせしました! やっとお会い出来ましたね!と手を握りしめたいです。益城町文化会館の方々、熊本の皆さん、ありがとうございます!

三船 優子



◦ 武藤 章

三船優子 piano

幼少の頃よりニューヨークで育つ。桐朋学園在学中、第57回日本音楽コンクール第1位。同大学首席卒業後、文化庁派遣研修員としてジュリアード音楽院に留学。1991年フリーナ・アワーバック国際ピアノコンクール優勝後、カーネギーホール、リンカーンセンターでリサイタルを行う。帰国後は、モスクワ交響楽団、サンクトペテルブルク交響楽団等と日本ツアー、ニュージーランド・ツアーなど、国内外で活躍。また95年より5年にわたりFM横浜のパーソナリティー、03年から6年にわたりNHK-BS2「週刊ブックレビュー」の司会を務めるなど、演奏以外の分野でも活躍、視聴者から高い人気と支持を集めた。14年よりドラム・パーカッションの堀越彰と“OBSESSION”を結成。クラシックピアノとドラムという他にない組み合わせで「最小にて最大のオーケストラ」を目指す新しい活動を開始。19年には、デビュー30周年を記念してリサイタルを行い、高い技術と深い演奏解釈で絶賛された。古典から現代音楽に至る幅広いレパートリーに定評があり、シャープで切れのあるタッチと繊細で品格の美音、華のあるダイナミックな演奏は、ファンを魅了し続けている。CDも多数リリース。京都市立芸術大学教授。

公式ホームページ
<https://www.yukomifune.com/>

Access 益城町文化会館 <http://mashiki-culturehall.net>

〒861-2242 熊本県上益城郡益城町木山 381-1
TEL: 096-286-1511 (受付時間 9:00~17:00、月曜休館)

駐車場についてのご案内

駐車場には限りがございます。また現在、区画整理に伴う工事が行われています。公共交通機関のご利用やお乗り合わせの上、お時間に余裕をもってご来場ください。

現在利用可能な駐車場

- P1 (第一駐車場) 40台…徒歩1分(50m)
- P3 (第三駐車場) 30台…徒歩2分(150m 階段あり)
- P4 (第四駐車場) 48台…徒歩6分(500m)
- 臨(臨時駐車場) 30台…徒歩3分(200m 階段あり)

